



コロナ禍での福祉学習



例年、5月頃から取り組まれている市内各学校での「福祉学習」。今年は、新型コロナウイルス感染症防止の影響で、しばらくの間実施することができませんでした。7月頃から、学校や講師となる方々とのような方法で実施できるかの話し合いを重ねて、9月に2つの学校で感染症予防に心がけ「福祉の心を育む」学習を行うことができました。

「知的・発達障がい」を理解する講座

～第三中学校1年生～

9月9日(水)、187人の生徒を対象に「福祉について」と「花笠ほーぷ隊の出前講座」を行いました。昨年までは、福祉施設を訪問する事前学習として高齢者の理解や車椅子体験等を行っていましたが、感染症防止の影響で施設訪問ができないためこの内容で行うことにしたものです。



全国的に、発達障がい等の症状と思われる生徒が増えていくとのことですが、先生も生徒も正しく理解する機会がほとんどありませんでした。知らないことで誤解や偏見に繋がる恐れもあるため、三中

の先生方が話し合い、鶴岡市内の学校では初めてこの内容の福祉学習を行うことになりました。自宅に帰ってから、講座の内容を家族に一生懸命に説明してくれた生徒がいたなど、ほーぷ隊のメンバーの想いはしっかり伝わってくれた学習になったようです。

生徒の感想文より

♡ 私は、今回の福祉講話をきいて少し反省しようと思ったことがあります。今まで私は、障がい者と会った時、何一つ親切や気遣いなどをせずに、知らないふりばかりしてきたことです。これからは、「障がいのある人だからいやだ」という変な考えをしっかりと頭から無くして、きれいなしっかりとした気持ちを持つようにがんばりたいです。

♡ 自分がいた小学校にも、障がいがある人がいて、その人の気持ちが今日の話しを聞いてよくわかりました。あの時は、ひどく接してしまったり後悔しています。今日の講話で、福祉のことに興味が持てました。家に帰ったら、インターネット等で調べてみたいと思います。



「聞こえないこと」を理解する講座

～朝陽第五小学校3年生～

9月11日(金)、63人の児童を対象に「福祉について」と「聞こえないことを理解する講座」を行いました。毎年行っている内容ですが、聴覚障がいがあるゲストティーチャーと交流する時間は、例年密接して行っています。そのため、担当の先生とゲストティーチャー等と感染症防止に努めながらできる方法を話し合い、いつもとは少し違う内容で実施しました。



児童たちは、福祉学習の10日程前からいくつかの手話を使って学校内の挨拶を行ってきました。その成果もあってか、休憩時間には2人のゲストティーチャーのそばに行って手話で話をする姿がたくさんありました。

休憩時間だけは、少し密になってしまいましたが、まちががなく「福祉の心」が育まれた時間になりました。

最後には、ゲストティーチャーの指導で「友だち」という歌を、手話で歌う練習をみんなで行いました。

児童の感想文より

♡ 自分たちが頑張って、手話や聴覚障がいの人たちがしてほしいということを、すぐにやったり手伝いをいっぱいやってあげたい。しゃべる時は、その人のしゃべるスピードに合わせてあげたいです。

♡ 「友だち」の歌を手話でやるのはたいへんそうだけど、ちょうかくしょうがいの方は、スラスラと手話してたし、音楽も聞こえないのに音楽に合わせて手話していたのですごいと思いました。



♡ ぼくたちが話したことを、手話に直してくれた人がすごいと思いました。

子どもの情操と愛郷心を育む音楽交流活動をめざして♪♪ 鶴岡子ども音楽文化育成協会が発足



鶴岡市ボランティアセンターに登録している団体には、音楽を通じて子どもたちの健全育成や福祉の心を育む活動を行う団体(グリーンギターフィールズ、鶴岡バイオリンサークル等)があります。そのような想いをさらに広げるために、今年7月、「鶴岡子ども音楽育成協会」が発足し、賛同できる成人の会員を募集しております。

●目的

鶴岡を中心に庄内地域に住む子どもたち(主に小中学生)が、各音楽ジャンルを越えて自由に交流する場を創出し、音楽という教義的な技術にばかり傾注させるのではなく、子どもの人間育成の視点から、自然を慈しむ心や故郷愛、人間愛等、音楽が本来的に持つ精神面の豊かさを音楽をとおして育むことにあります。

●会員募集について

1. 条件

- ・協会の目的に賛同できる、庄内地域在住の成人
- ・「子ども音楽育みコンサート」に出演する子どもを推薦できる人

2. 対象の楽器

古楽器、弦楽器、撥減楽器、金管楽器、木管楽器、打楽器、鍵盤楽器、声等

3. 登録料 無料

●予定している主な取組

1. 庄内子ども音楽育みコンサート

ジャンルの異なる音楽分野で練習している子どもたちが、日頃の成果をコンサートとして発表しあい、インタビューや名刺交換、レッスンへの思いや故郷の自然の話しを語るコーナー等、音楽をとおした交流の場となるコンサート。

2. 音楽による仲間づくりと社会活動

施設を訪問したり、空港や駅を利用して庄内に来る人たちに歓迎演奏や県内外の青少年との文化交流等。

●問合せ・申込先

鶴岡子ども音楽文化育成協会(事務局)

鶴岡市藤島字古楯跡84グリーン古代館

電話0235-64-2441 携帯090-7527-2382

FAX0235-64-5686

企業の地域貢献 フードバンクに協力!

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)

同社(鶴岡中央工業団地内)では、社員の皆さんが「燦活動(さんかつどう)」という名称で様々な地域貢献活動に取り組んでおります。

9月16日(水)、鶴岡市社協で取り組んでいるフードバンク事業に活用して下さいと、保存できる食品を寄付して下さいました。

社員の皆さんが提供してくれた、米、カップ麺、缶詰、レトルト食品等々約470点を、生活支援課長が受け取り、困っている方々のために使わせていただきますとお礼の言葉を伝えました。

どうもありがとうございます。



※フードバンク:「食品ロス問題」「貧困問題」を背景に、食品会社や地域住民等から提供された保存できる食品を、生活困窮世帯等にお渡しして支援する取組。

傾聴ボランティア養成講座 受講者募集中

主催 山形傾聴塾

山形傾聴塾では、施設、病院、及び自宅で生活する人で痛みや苦しみを抱えている方々のために傾聴活動に取り組んでおります。

今年度の「傾聴ボランティア養成講座」が、次のよう開催されますのでご案内いたします。

●目的 当講座は、相手が誰でも、どこでも、いつでもお話を聴かせて頂くことにより、「ああ、落ち着いた」「何か楽になった」「ちょっと元気になった」「助かった」と思ってもらえるような良い聴き手(ボランティア)を育成するために行います。

●日時 11/1・8・15・29 12/6・13 (各日曜 13~16時)
※6回すべてに参加する必要があります。

●場所 三川町社会福祉センター

●定員 4名

●受講料 10,000円(テキスト、資料他)

●締切り 10月25日(日)

●問合せ・申込先 電話090-9533-0532 梅津さんへ
詳しいことは「日本傾聴塾」のホームページをご覧ください!



ちょボラ場予定

◆10月 7日・14日・28日

◆11月 11日・25日

感染症、しっかりと予防に努めます。



〈らくがき〉 猛暑が過ぎ去って、一気に朝晩は寒さを感じる季節になりました。コロナ禍が続いている中、皆さん、今度はインフルエンザも予防して元気に頑張りましょうの~。(H)